

謹賀新年

皆様お揃いで新年を迎えられたことと存じます。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

旧年中は、公民館の諸活動にご理解ご協力頂きありがとうございました。唯一

の講座「俳句の会」は、毎月継続して開催されてきました。本年も、皆様方に関心をもって頂けるような催しや講座を設け、より多くの皆様方に参加していただいで、楽しんでいただけるような活動の充実に努めたいと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。

今年の正月は、年末に降った雪が残り、雪景色の風情ある新年を迎えました。各地区では恒例の初詣や新年交礼会などが行われ、「戌年」の今年にかける思いや期待などが込められた話題も多く交わされたことと思います。今年も地域にとって、皆様方にとって、より充実した一年になることを願っています。



新年交礼会

平成30年元旦 各地区で「新年交礼会」が行われました。

千原区では、千原区公民館で催されました。午前10時に太田勲区長の挨拶でスタート。区の益々の繁栄等を祈念して、乾杯へと続きました。約2時間の会の中では、最近の話題や昔から千原区にまつわる話などに話の花が咲きました。今の公民館改築（平成5年11月）に合わせて、平成6年の新春に始まった行事ですが、近年は、参加者20名前後と低迷しています。来年は更にたくさんの区民の皆さんが集まっただくことを期待しています。（千原区 太田協力委員より）



とんど

1月7日 千谷区で「とんど」がありました。千谷区では、2箇所で行われました。午後1時、それぞれ持ち寄った「正月飾り」を集め、点火しました。煙をあびて健康を願う人、餅を焼く人、炭を持ち帰る人など色々な思いが込められていました。書初め会で描いた習字を燃やし、高く舞い上がることを願ひながら、上達を誓った人も見受けられました。



とんどは、歳福神などの神前に昼食を供えておがみ、午後になるとお飾りを下げて、昔は小学校下と、奥田橋上、向垣の3箇所でお飾りを焼いた。その時は、二日に作った歳竿に挟んで神棚に備えた餅を焼き、家族一同がこれを分けて食べ、その年の健康を祈る。

子供は、二日に書いた「書初め」の書を、とんどの火の勢いで舞い上がらせる。この時高く上がれば上達するといわれてきた。しかし、近年は、1月7日に行われるようになっている。

（千谷村誌より）

お日待ち

1月7日 公民館でお日待ち神事を行いました。前日にすっかり神事の準備も整い、安藤宮司様をお迎えするだけとなりました。

お見えになると、早速祝詞をあげていただき、参加者は地区内の安全と繁栄を祈りました。神事後は、宮司様に乾杯のご発声を頂き、みんなで飲んで食べて、ひたすらしゃべって食べて、大いに賑わいました。お互いの親睦をばかり、楽しい一日を過ごしました。近年、鐘尾地区においても、イノシシやシカ、サル等の鳥獣被害の増加、そして思わぬ自然災害が起こる等、安全で安心な生活が脅かされることが多くなりました。今年が鐘尾地区にとって、豊穰の年となることを願っています。(鐘尾区 井上協力委員より)



新春書初め会

1月6日 恒例の「新春書き初め会」を八田コミセンで行いました。

参加者は6名。講師は、走出弘志先生。

今年も講師の走出先生には、沢山の

手本を準備していただきました。「書初め」はめでたい方角に向かって毛筆で書くこと。気持ちとしては、さわやかで、すがすがしく。書き方のポイントとしては「大きく、太く、元気よく」「始筆、送筆、終筆を大切にしながら書くこと」などの説明を受け、準備していただいた手本を参考にしながら書き始めました。

今回参加された皆さんは、去年も参加された方々で、思い思いに書き進めました。先生は、巡回しながら、一人一人の力量に応じて、「素晴らしい」と声をかけ、よりよくなるポイントを指導されました。

この日は、一人3枚の清書を仕上げ、掲示して、それぞれの作品の良さを褒めていただきました。

最後に、みんなで「ぜんざい」をいただいて平成30年の「新春書初め会」を閉会しました。



珠数繰

1月14日午後1時30分から内山公民館にて、毎年恒例の「数珠繰」を行いました。参加者は女性ばかり10名でした。(欠席1名は施設入居し不在の世帯)

内山の「数珠繰」の方法を紹介しますと、長さ約7、8メートルはあろうかという長い大きな数珠の外側に皆さんが車座になって座ります。その外に鉦の叩き役1名を配置します。この鉦の役は、毎年当番に当たった人がします。当番は、茶菓子、飲み物等を準備する世話役も兼ねています。大きな数珠を時計廻りで回し、それと共に、鉦叩き役の人が鉦を叩き続けます。数珠を約30分間回した後、休憩懇談し、また30分間回します。こうして参加者全員が、今年一年家族の無病息災を祈念しながら、約1時間珠数を回して終了しました。この日も、午後3時過ぎに終わったようです。この行事は、疫病退散、無病息災を願って始まったものであるとのことですが、内山の場合、いつごろから始まったものかは不明です。(内山区 岡田区長より)



内山区

1月8日 千谷区でも堂で「珠数繰」が行われ、26名が参加しました。

まず全員で念仏を唱えました。その後、みんなで大きな数珠を持って「サルガシндаマイマイド」と唱えながら、途中休憩をはさんで、108回まわりました。「今年もいい年にしたい」と会話が弾みました。



千谷区